

2021年 6月 子育てワンポイント

テーマ「あいさつ」

～挨拶ができる子どもになるために～

お子さまが挨拶しないと困った経験はありませんか？ お子さまが挨拶できないことには理由があります。保護者はその理由を理解することが子育てのマナーを育む際に大切です。その理由はどのようなことでしょうか。



恥ずかしがり屋の性格の子どもの場合、初めて会った人の前や知らない場所、まだ慣れてない場所では言葉を発すること自体が難しい場合もあります。自分を受け入れてくれる相手もしくは自分が受け入れられる相手であるかどうか判断できるまでは警戒してしまい挨拶できないからです。**普段挨拶ができるお子さま**でも気分がのらない時や機嫌が悪い時は言葉が出てこないこともあるでしょう。

小さいお子さまほど周りの状況や雰囲気を感じて挨拶できずにいることがあるのでお子さまの気持ちを理解し無理に挨拶をさせることは避けましょう。



大人が見本

自分から自然と挨拶ができるよ

うになってほしいと願う保護者は多いと思いますがどうすればよいでしょうか。まずは保護者が挨拶をする姿を見せることが大切です。お子さまは、身近にいる保護者の姿を見ながら育ち信頼している保護者の言動を見本として成長していくので外でも家でも自然と挨拶ができる保護者を見て真似をするようになるでしょう。まず、保護者がどんな時でも「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」と言っているか振り返ってみることが大切です。



タイミング

保護者が習慣的に挨拶をしているとお子さまもどのタイミングで挨拶をすればいいのか理解しやすくなります。挨拶ができなくても叱ったりせず恥ずかしくてできない場合も一緒に言ってみようかと声掛けをしたり言えるタイミングまで待つことも大切です。

挨拶ができたら褒めて嬉しい気分になることを感じられるようにします。また、挨拶の練習としてこっこ遊びに挨拶を取り入れて自然と練習することで自信がつくでしょう。

